※令和４年度以降入学生用

学校番号	1207

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新　高校の数学Ａ　（数研出版）						
副教材等	新　高校の数学Ａ対応　教科書学習ノート数学Ａ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒の学力に応じて教科書の内容を精製し､講義と問題演習を反復しながら基礎学力の充実を図る。また、補助プリントなどを適宜作成し、理解を深めるとともに、計算力の向上を目指す。

２　学習の到達目標

おもに場合の数と確率、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の修得と技能の習熟をめざす

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考力や判断力を身に付けている。	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	場合の数	・集合の要素と個数	a: 集合や要素の記号について理解している。 b: 樹形図などを用い、基本的な個数を処理することができる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期 考査	ノート等 提出物 観察
	場合の数	・順列と組合せ	a: 円順列や重複順列を解くことができる。また、順列と組合せの関係性を理解している。 b: 順列や組合せの新しい計算や使い方に興味をもち、意図的に理解しようとする。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期 考査	ノート等 提出物 観察
	確率	・事象と確率 ・確率の基本性質 ・独立な試行の確率、条件付き確率	a: 事象と確率について興味を持つことが出来る。 b: 確率を身近な現象と捉え、考察することが出来る。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期 考査	ノート等 提出物 観察
後期	平面図形	・三角形の性質 ・円の性質	a: 三角形の性質や円の性質を用いて、問題を適切に処理できる。 b: 三角形の性質や円の性質について自ら考察することができる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期 考査	ノート等 提出物 観察
	約数と倍数	・約数と倍数 ・最大公約数 ・最小公倍数 ・ユークリッドの互除法 ・n 進数	a: 整数の割り算を正確に行い、商や余りについて正しく理解できる。 b: 約数と倍数について考察し、表現できる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期 考査	ノート等 提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度